シラバス　音楽科

教科名	第１学年　音楽科	担当者　　森野　蘭子

【 学習到達目標 】

・色々なや音や音楽に触れ、音楽のつくられ方と音楽から感じたことをの関わりを理解する。
・工夫して表現したり、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴けるようになる。
・主体的・協同的に表現や鑑賞の学習を楽しんで行い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。

【　学習方法やポイント】

・自分の声に合った歌い方で、積極的に声を出して歌いましょう。何度も歌うことにより、歌詞も覚えることができ、音程やリズムも分かります。歌詞の内容を味わい、そこで表現されていることに合った歌い方をしましょう。
・リコーダーは音孔を押さえることに慣れましょう。何度も演奏することによって指使いを覚えられます。息をしっかり入れて良い音を出すようにしましょう。運指がわかれば、タンギングも意識して美しい音で演奏できるようにしましょう。
・ワークやプリント問題は教科書等を参考に解き、丁寧に答え合わせをしましょう。
・音楽を聴くときはその音楽からイメージを膨らませ、そのイメージと音楽の要素との関わりを考えるようにしましょう。

【　年間学習計画表　】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1学期	**新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう**	・斑鳩南中学校校歌 ・歌唱曲「その先へ」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。
	曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう	・ アルトリコーダー曲「喜びの歌」	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。
	詩と音楽との関わりを感じ取ろう	・鑑賞曲「魔王」	・詩の内容や曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
2学期	**曲想やパートの役割を感じ取って仲間とともに、表情豊かに合唱しよう**	・音楽会クラス選択曲	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、へ音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。
	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう	・歌唱曲「浜辺のうた」	・叙情的な歌詞や旋律から、豊かな自然のイメージを膨らませ、それにふさわしい表現を工夫して歌う。
	曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう	・アルトリコーダー曲「かっこう」「カントリーロード」	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう	・歌唱曲「赤とんぼ」	・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。

	日本の伝統音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・鑑賞曲「六段の調」 ・鑑賞曲 「雅楽『平調　越天楽』」	・箏曲や雅楽の特徴と背景とのかかわりをとらえ、音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ・箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。
3学期	**パートの役割や旋律の重なり方を感じ取って、表現を工夫しよう**	・合唱曲 「We'll Find The Way」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。
	曲の構成を感じ取って演奏しよう	・歌唱曲 「主人は冷たい土の中に」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。
	音楽の特徴から情景を想像しよう	・鑑賞曲「春」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。

【評価について】

音楽科では、以下の３つの観点に基づき、生徒のみなさんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能
音楽活動を楽しみ、楽曲の仕組みや特徴、音楽の多様性について理解するとともに、いきいきとした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽演奏、創作の技能を身に着けているかどうか等から判断します。
（主に、授業中の取り組み、定期テスト、実技テスト、提出物の状況などから評価します。）

○思考・判断・表現
曲にふさわしい音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴けているかどうか等から判断します。
（主に、定期テスト、実技テスト、提出物、授業中の取り組みなどから評価します。）

○主体的に学習に取り組む態度
主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に積極的に親しめているかどうか等から判断します。
（主に、実技テスト、授業中の取り組み、提出物等から評価します）